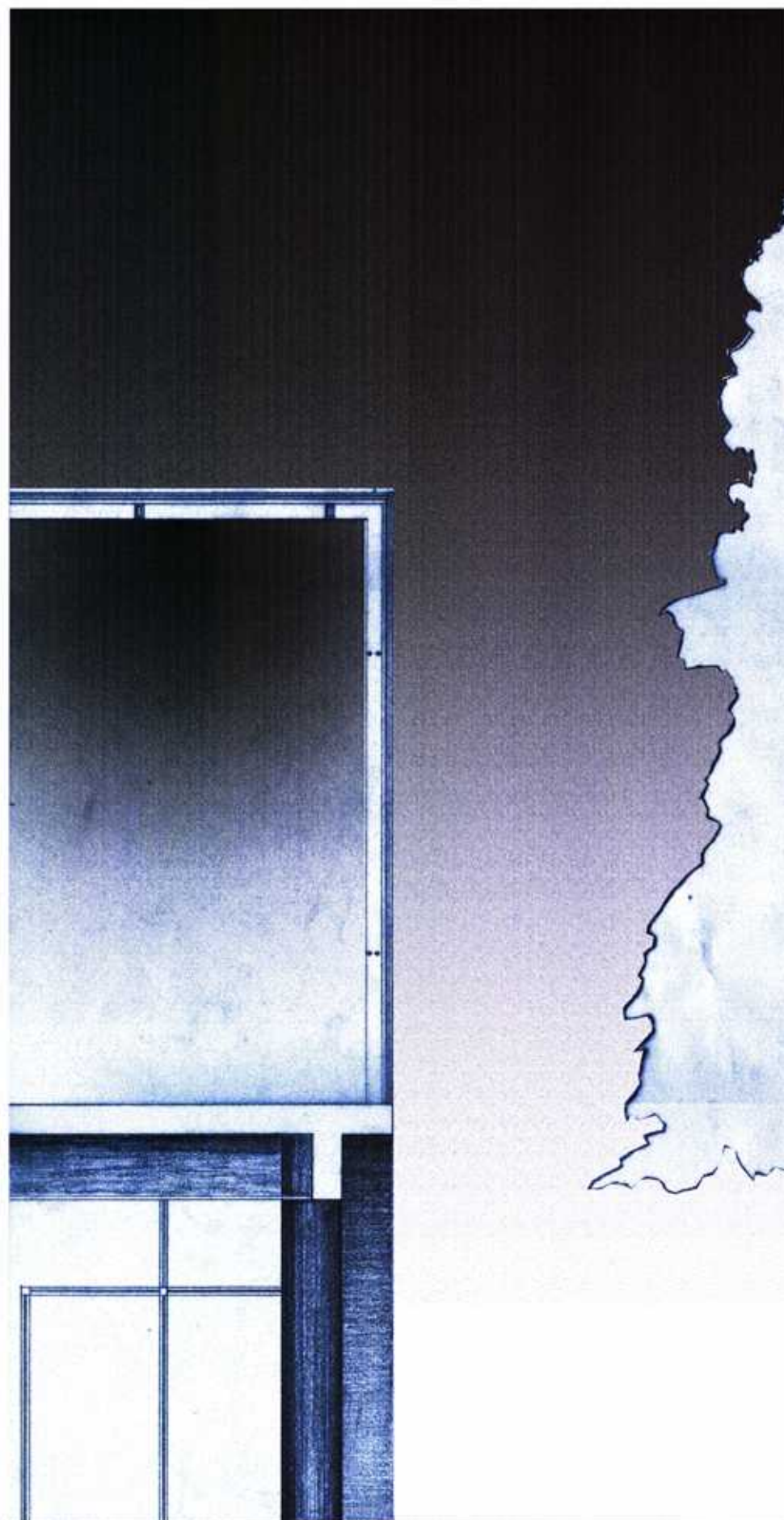
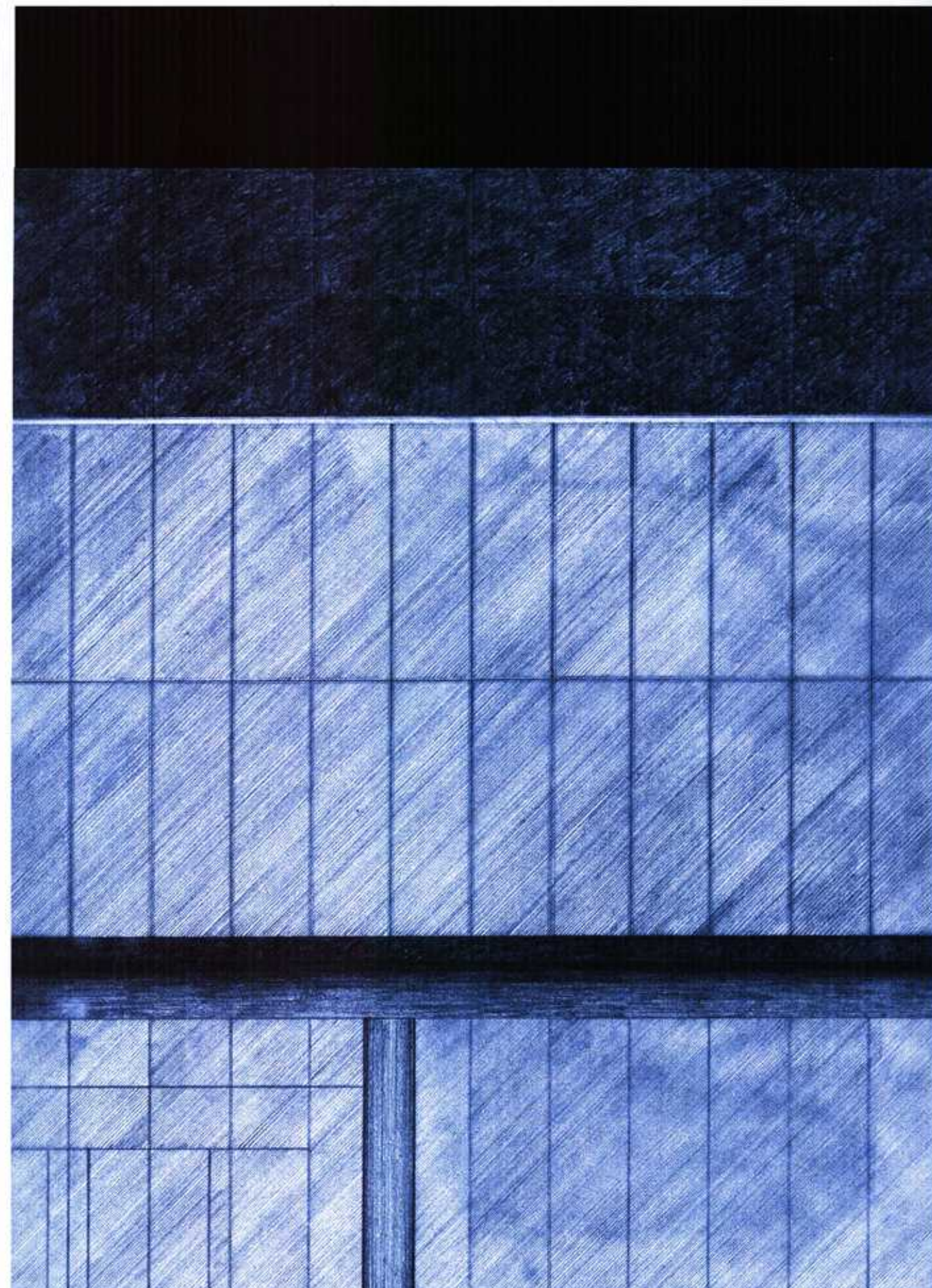


TOKYO INSTITUTE OF F

HIROSHI ITO

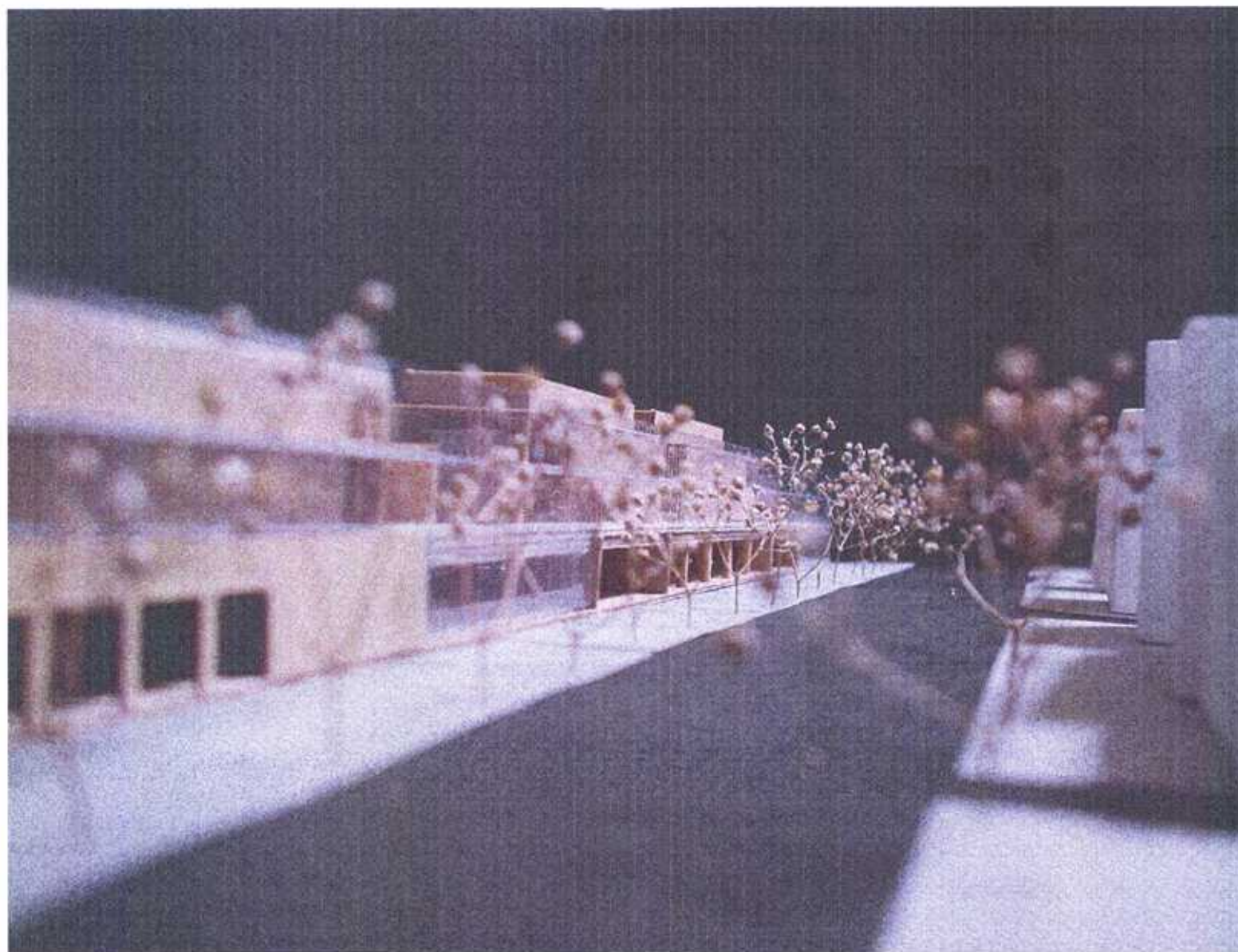


DETAIL S=1:40



ELEVATION S=1:40

FASHION ARTS



CONCEPT

ファッション業界には、二つの顔がある。一つは、ビジネス。もう一つは、デザイナーが、新しい時代を反映させた作品をつくり出すアートとしての顔である。しかし、私達がファッションに対して普段感じることは、ビジネスだけなのではないだろうか。それは、私達は主にブティックでしか衣服と触れあう機会がないからである。そこで本計画では、一般に公開できるファッションショーのための舞台を設計した。これによってブティックにはないアートを感じられるはずである。

SEASON COLLECTION

＜春*夏＞＜秋*冬＞と行われるファッションショーを開催させることができる場である。ブティックが多く並ぶ表参道という土地で、ショーを一般の人々に公開する。



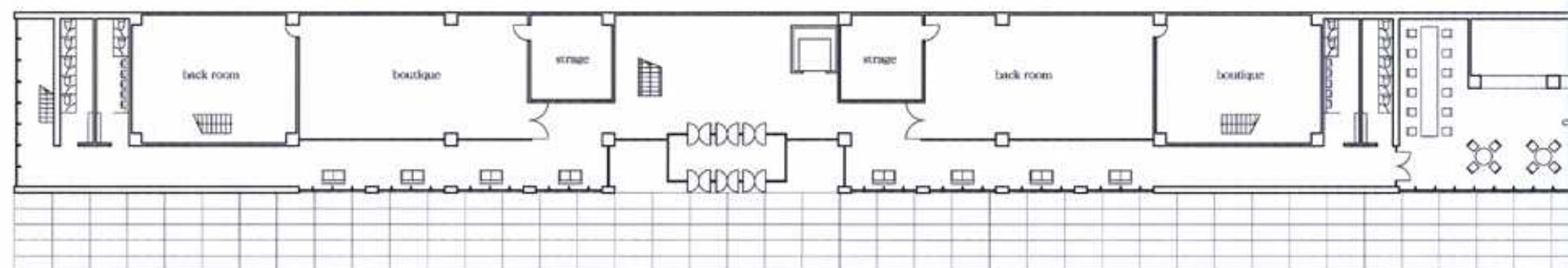
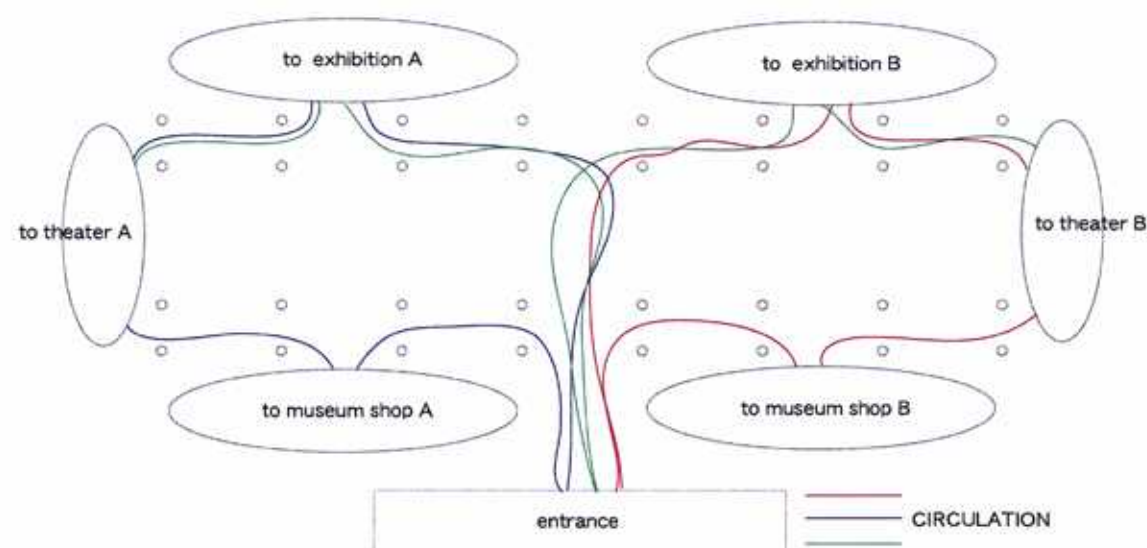
今回選定した敷地は、日本屈指のファッションストリートである表参道に面した同潤会アパート地である。取り壊しが決定されたアパートの土地を、表参道ならではの物にすることからこの計画を始めた。



PHOTO OF OMOTE SANDO

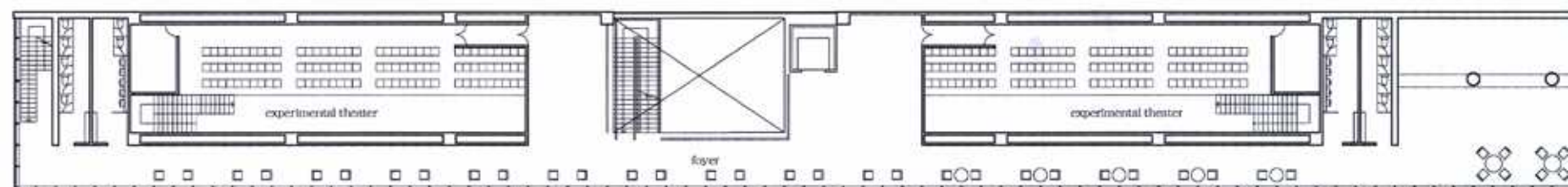
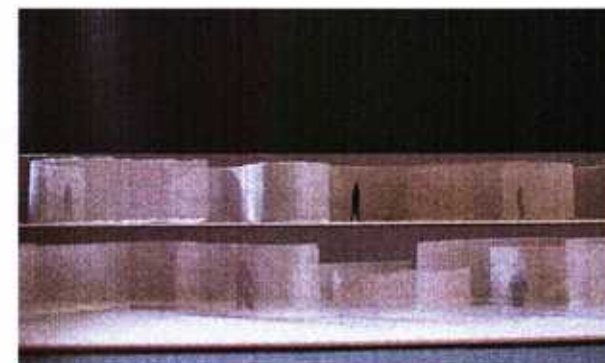
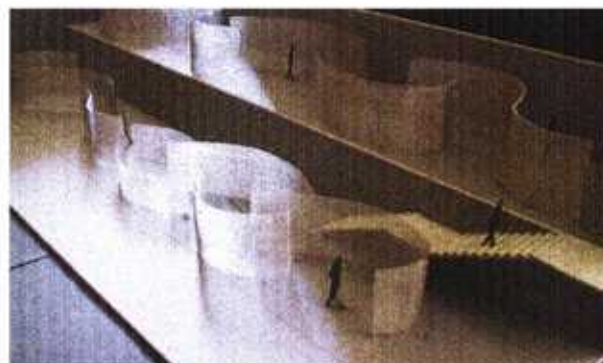
BASILICA

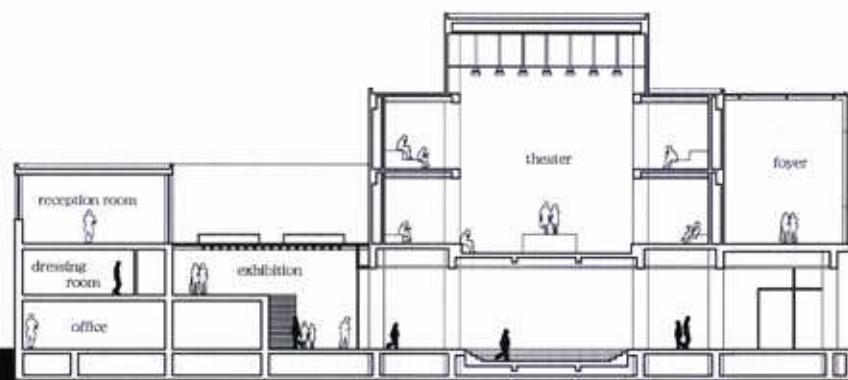
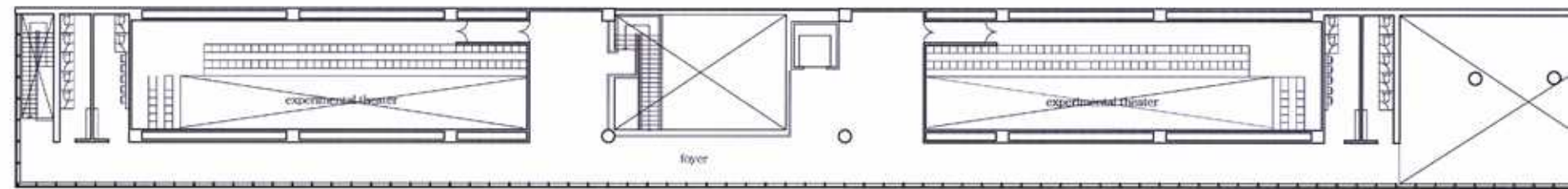
本計画は、初期キリスト教建築のプランを取り入れている。それによって、複合機能を持ちながら回遊性をつくりだしている。しかし、この回遊性は、美術館のように展示室を串刺しにするのではなく、選択性のある回遊性である。



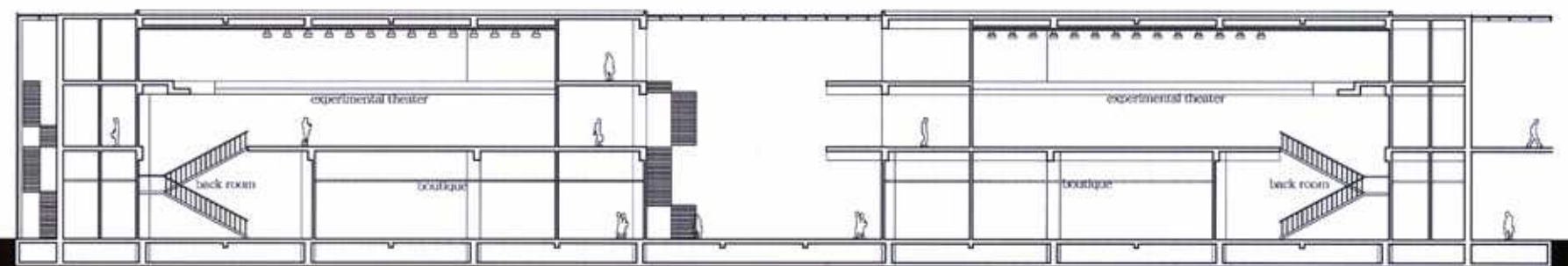
EXHIBITION

展示物は、デザイナーが服をコレクションで発表するまでの過程でつくられたスケッチやパタンナー、実際に使われた生地などである。本計画では、一例として右のような展示室をデザインした。

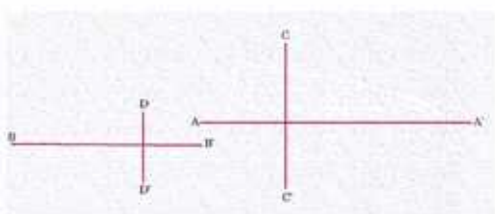




C-C' SECTION S=1:200

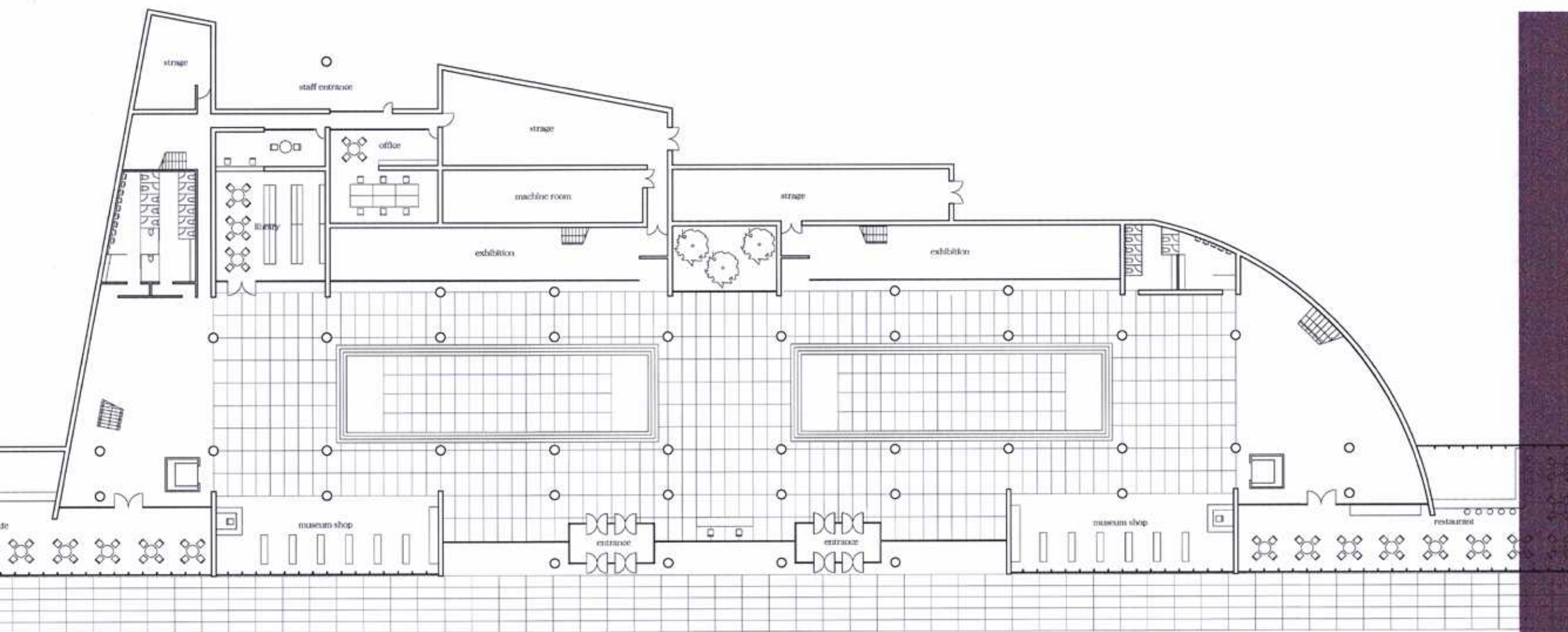


B-B' SECTION

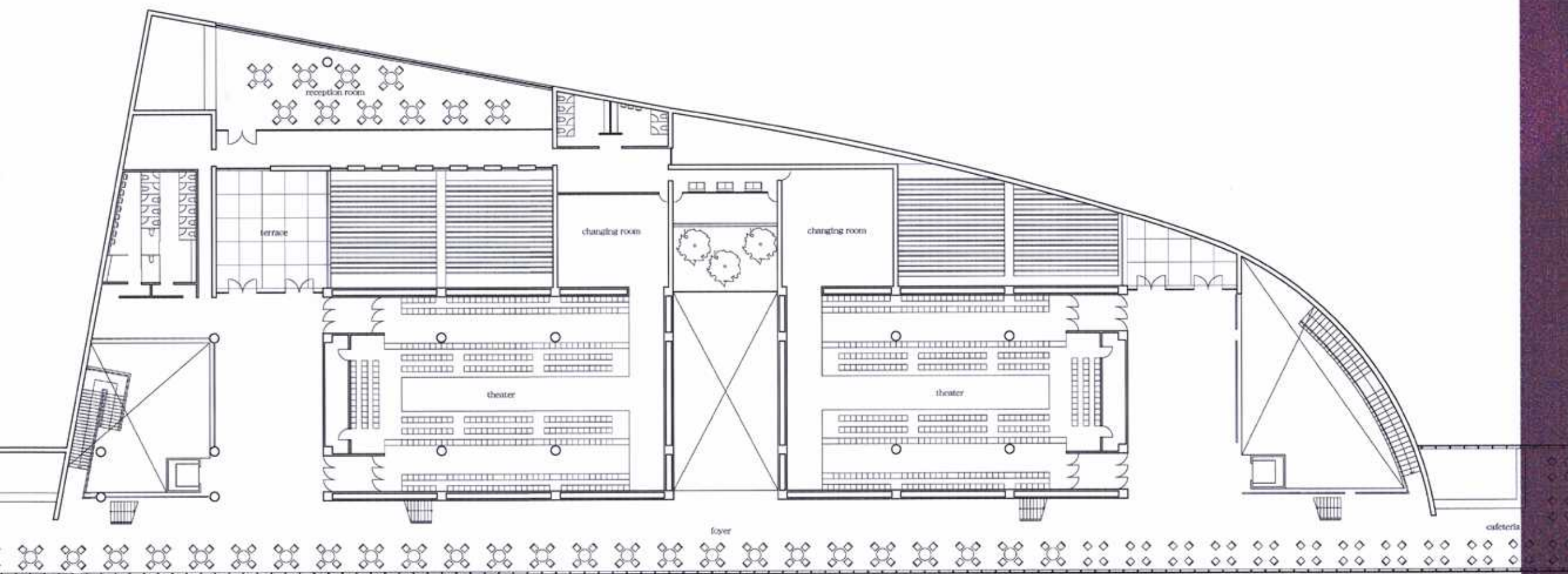


D-D' SECTION S=1:200

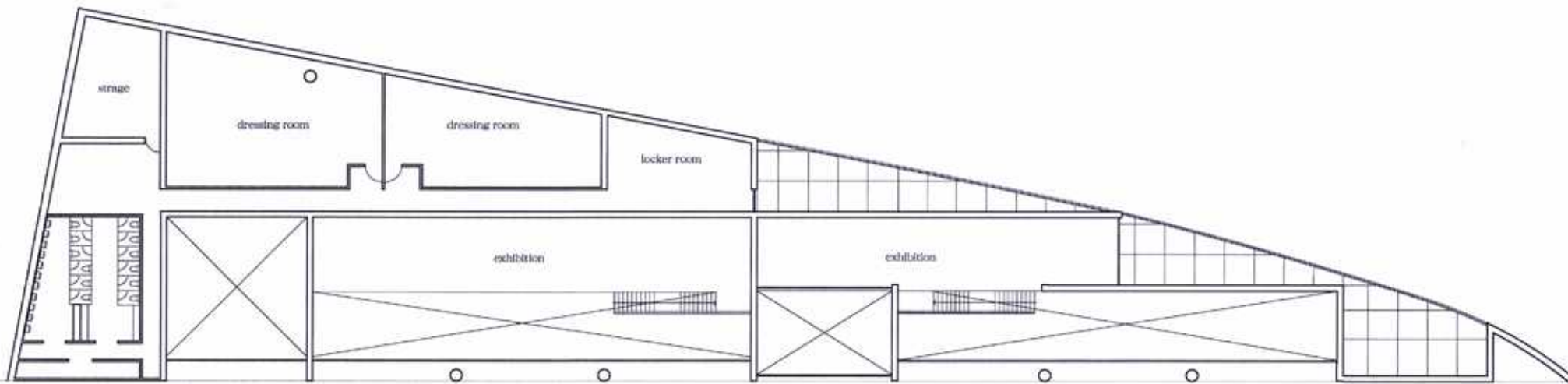




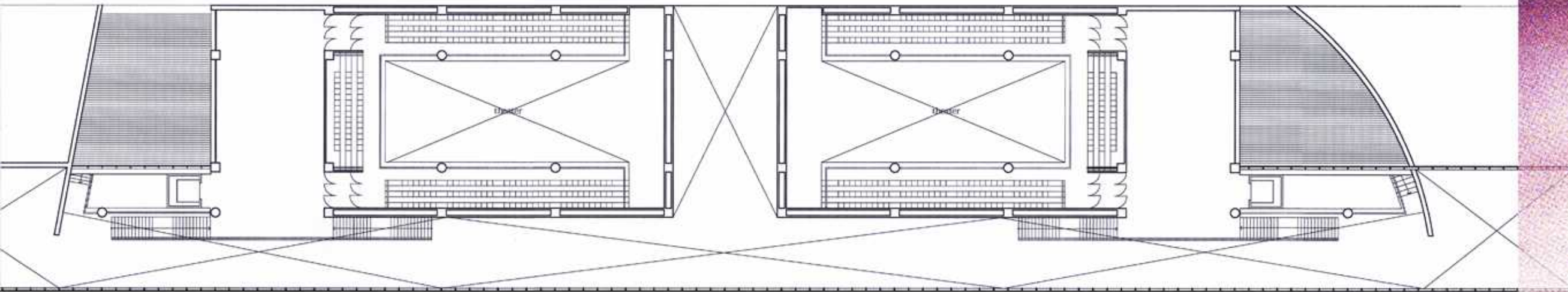
1st FLOOR PLAN S=1:200



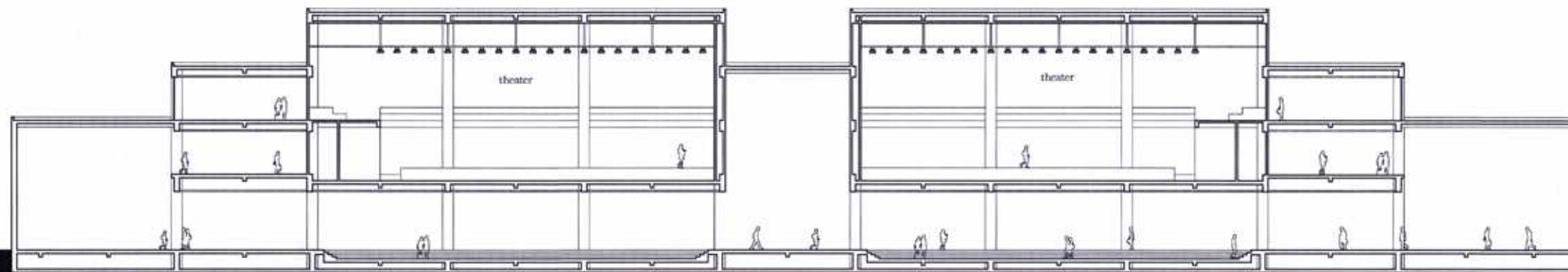
2nd FLOOR PLAN S=1:200



UPPER 1st FLOOR PLAN S=1:200

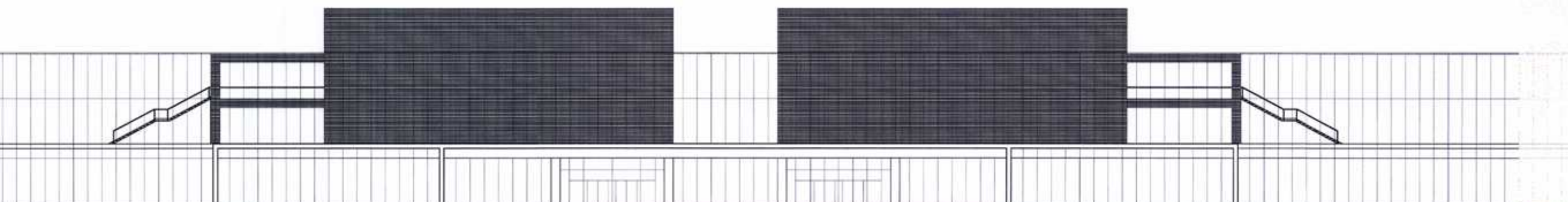


UPPER THEATER PLAN S=1:200



ION S=1:200

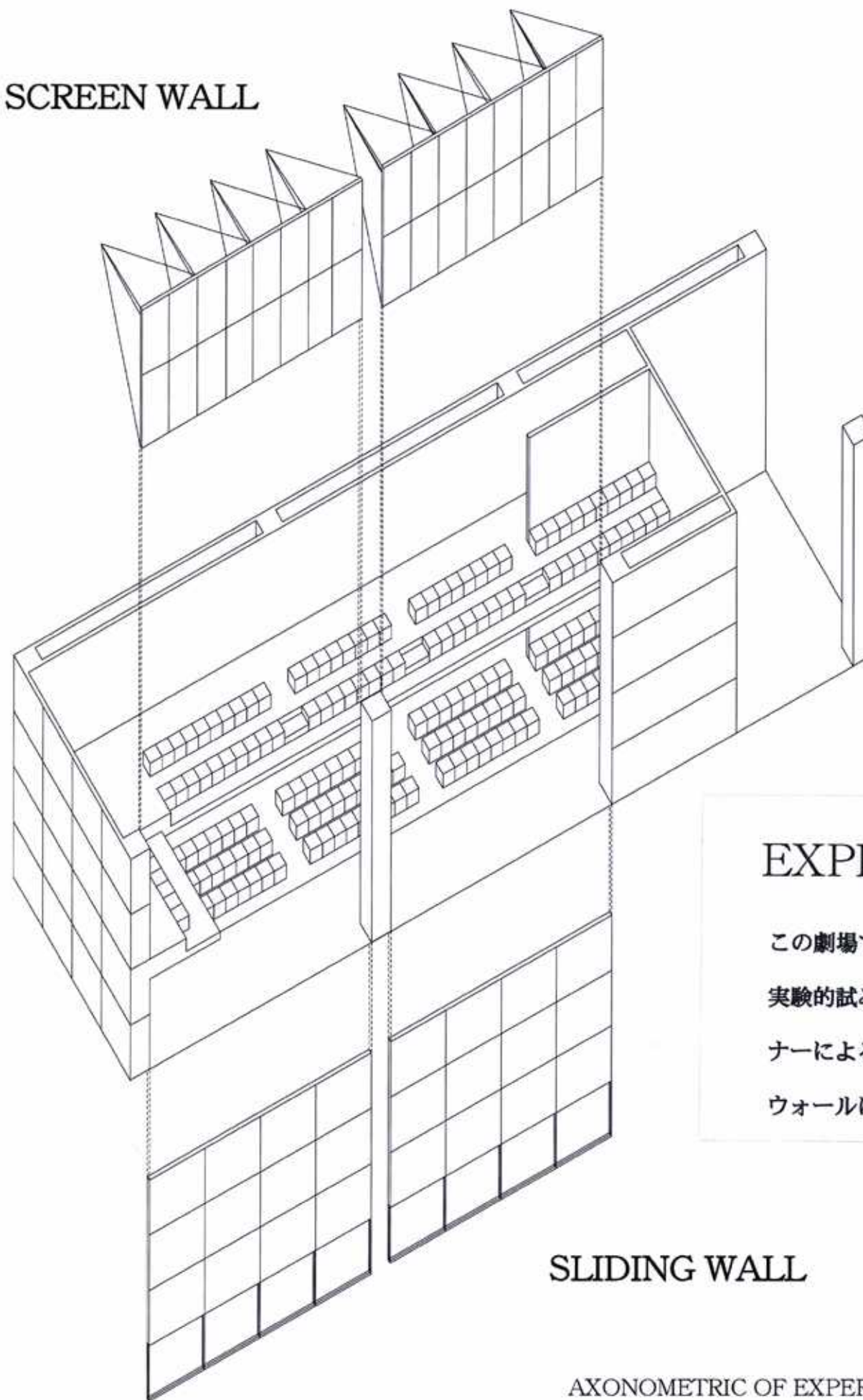
A-A' SECTION S=1:200



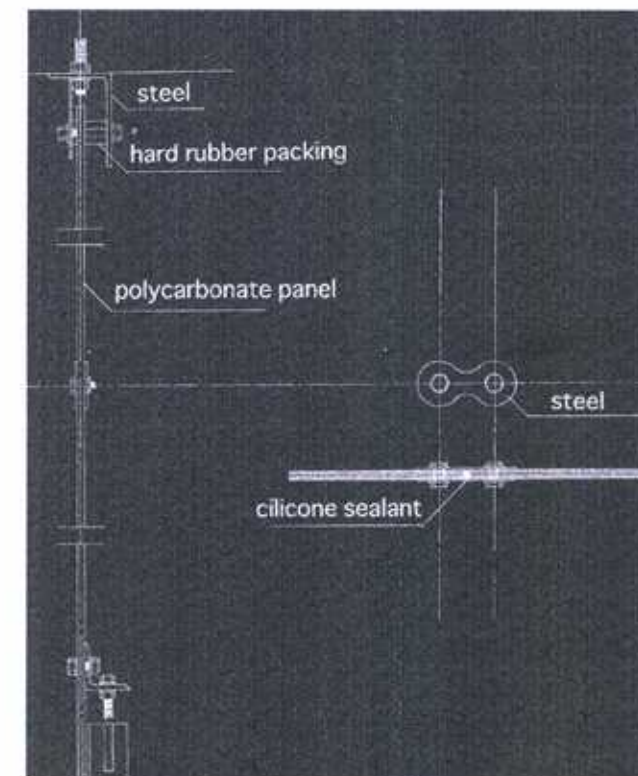
SOUTH ELEVATION S=1:200



SCREEN WALL



SLIDING WALL



DETAIL OF SCREEN WALL S=1:200

EXPERIMENTAL THEATER

この劇場では、通常のステージでは体験することのできない実験的試みが行われる。スクリーンウォールの映像はデザイナーによるインスタレーションであり、またスライディングウォールによって劇場を外部に解放できる。

AXONOMETRIC OF EXPERIMENTAL THEATER

